

# JSCA九州 1/1版

発行・日本建築構造技術者協会九州支部  
 TEL 092-406-2905 / FAX 092-409-2934  
 Web Site : <https://jscakyushu.jp/>  
 E-mail : [info@jscakyushu.jp](mailto:info@jscakyushu.jp)

## 2024年巻頭言



2024年1月 JSCA九州支部長 今林 光秀

JSCA九州支部会員ならびに賛助会の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

元日に能登半島地震が発生しました。1週間以上が経っても被害の全容はつかめておらず、被災者の方々に何と申し上げて良いか言葉が見つからない心境にあります。

実は、昨年3月末に能登半島へ家族旅行をしました。和倉温泉の加賀屋に泊まり素敵なおもてなしを頂き、青竹寺で御便殿の空間に驚き、白米千枚田の佇まいは美しく、近くにある塩田では説明に塩作りの苦勞を学び、珠洲市ではコーヒー屋さんや見附島でのんびり過ごしました。初めの能登半島旅行でしたが、やはり日本は美しいと改めて感じました。

その美しい能登が大地震で大きな被害を受けたことにショックを受けました。また、旅行で出会った方々の事を想うと、自分は何をするべきなのか？と考えます。複数の断層が連動して長さ80キロに渡り逆断層を起こしたとの報告もあります。我々構造技術者は安全安心な美しい建築を創造する重要な責務を背負っています。自然の大きな力への謙虚な姿勢は忘れずにいたいです。



[ 青竹寺御便殿 2023.3.31 ]

2023年の支部活動では“かかわりを強く”をモットーに様々な活動がされてきました。これらもひとえに、支部会員の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

2024年も引き続き、さらにパワーアップして、かかわりを強く高めていきたい所存です。例えば、2月末に設計部会の企画で、法政大学川久保先生をお招きして「SDGs講習会」を行います。これは構造に限った講習会でなく、福岡県建築士会など多団体とも協力してJSCA九州支部主催で行います。SDGsやカーボンニュートラルと言った建築を取り巻く環境の変化に構造技術者も精通していないと、これからの建築に携わることはできません。構造発信でこのような講習会を行うことの意義は大きく、ぜひご参加頂ければ幸いです。

また、基礎地盤系部会による地盤調査ハンドブックも2023年に改訂版が完成しました。昨年福岡では講習会も行われましたが、今年は地区会でも講習会を行う予定です。講習会を希望される地区会の皆さま方はぜひご用命ください。さらに、様々な部会や委員会そして地区会でも有意義な活動が今年も行われます。JSCA九州支部が一体となって、今年も明るく楽しく活動していけたら幸いに存じます。

JSCA九州支部会員および賛助会の皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 新年を迎えて



副支部長 重松 正幸

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様、このお正月はいかがお過ごしだったでしょうか。

まずは、元旦の令和6年能登半島地震、正月二日の羽田空港事故で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

コロナ禍が落ち着き久しぶりに迎えたお正月らしい雰囲気は、一瞬にして非常事態へと変わり緊張感を持ったスタートとなりました。海外に目を向けると、ウクライナ・ロシアの戦争、パレスチナ・イスラエルの戦争は続き、国内に目を向けると、万博、政治、芸能界などの様々な出来事が問題として報道される日々。ネガティブな雰囲気が作られ、人々がその様な思考に陥っている気がしてなりません。それらを受け止め一人ひとりが自ら道を切り拓き明るい日々を作り出して行くべきだと思います。松下幸之助さんの思考法である「陽転思考」。「日常に起こるあらゆる出来事があるがままに受け止めて、感謝の心を抱きつつ、最善を尽くして生きていこう」という考え方があります。この様な時だからこそ「心の持ち方、考え方」を「陽転思考」で過ごしてみませんか。JSCA九州の活動も、より一層前向きに進めていきたいと思っています。皆様の健康とより一層のご活躍を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



副支部長 木村 正人

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年5月より副支部長に就任し、半年が経ちました。まだまだ不慣れな面もありますが、今年は、辰年の龍のごとく力溢れ活気づいた年となるよう尽力したいと考えています。

なお、昨年は、野球・バレー・バスケットなどスポーツ界で日本が躍進し、スポーツ好きの私は何度も気持ちが高揚しました。一方、コンプライアンスの時代にも関わらず不正が相次いだのが残念でなりません。また、年始から北陸の地震災害、航空機の衝突事故、小倉の繁華街火災が相次いで発生し、安全・安心について考えさせられました。昨年からは新型コロナが5類感染症になり、各部会、地区会の活動も非常に活発となったと実感しています。いよいよ、今年の4月から時間外労働時間の上限制限が建設業・トラック運転手等で適用されます。これまで以上の自己研鑽により各人が能力を高める時代が始まります。また、コロナ禍以降、デジタル技術の活用が急速に進んでいます。このような状況の中、若手技術者等の向上の場を提供するJSCA九州の活動が重要になると考えています。今後も皆さんと連携し、最新情報の展開を進めていきたいと考えています。

今年も皆様のご活躍ご健勝をお祈りいたします。どうぞ宜しくお願い致します。

## 技術委員会



技術委員長  
(有)福岡構造 吉村 泰広

新年あけましておめでとうございます。

2024 年を迎え 2019 年に九州支部技術委員長に就任して 6 年目に入る年です。1 月で 63 歳になり、孫も 6 人になりました。お爺ちゃんです。これまでの 5 年間を振り返ると、2019 年は韓国免震制振協会創立 15 周年記念式典へパネリストとしての参加、2020 年は J S C A 本部・九州支部合同技術委員会（九州場所）開催、2021 年は BIM-WG 新設、2022 年は福岡県構造特記仕様書作成補助と JSCA 本部や福岡建築構造設計事務所協会、九州免震普及協会などの他協会との連携強化、2023 年は BIM-WG をプログラム部会への昇格を行いました。

昨年のご挨拶で、「九州から何が発信できるか」「九州から全国へ、世界へ」と書きましたが具体的には進捗していないのが現状です。今後も取り組んでいきたいと思えます。また、昨今話題に上がっている AI を利用した最適化設計が今後確実に進んでいきます。JSCA 九州支部技術委員会では設計部会と新設したプログラム部会が連携して皆様に情報を届けていくように考えています。新年を迎え元旦に能登半島地震、2 日に航空機事故など甚大な災害・事故が生じています。構造設計を通じ「安全・安心」な建築物を提供するため、構造設計技術者の育成に向けて更に勤めてまいります。本年もよろしくお願ひします。微力ながら頑張ります。

## 設計基準系部会



設計部会長  
(株)織本構造設計 都筑 清

R6 年能登半島地震に被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。1 日も早い復興をお祈りします

2023 年はコロナ禍が収束し、JSCA でも対面の活動が多くなり会員の方々と実際にお目にかかる機会が増えました。昨年活動においても、応答制御設計部会の時刻歴応答解析勉強会に協力し、また年が明けてのプログラム部会最適化技術セミナーも開催協力しています。ヨコの繋がりが充実した活動となりました。

昨今、建築業界においては「BIM」、「DX」、「AI 活用」などのワードを頻繁に目にします。どれも新しい技術で今までの知恵だけでは太刀打ちできず、いわゆるリスキングが必要となってきました。設計部会はヨコの繋がりを活かしてこれらを攻略していきたいと思えます。

なお今後の活動として 2/28 に「建築関係者にとっての SDGs」講演会を予定しています。SDGs が声高に叫ばれるようになって数年、国や企業による様々な取り組みがされてきましたが、我々設計者が把握しておくべき事項の総括と新たな学びの話になっています。SDGs の「今」を再認識する機会として是非ともご参加ください。本年も宜しくお願ひします。

## 応答制御設計部会



応答制御設計部会長  
エス・エー・アイ構造設計(株) 上野 敏範

皆様、新年あけましておめでとうございます。

2017年より活動を始めました応答制御設計部会では、引続き、免震構造や制振構造を、特殊なものとするのではなく、一般化することを目標に活動を始め、8年目を向かえます。昨年は、主に以下の活動を行いました。

①「時刻歴応答解析勉強会（第1回：導入編）」（5月）をWEB開催し、時刻歴応答解析の概要の説明、『3D・DynamicPRO』を用いた時刻歴応答解析のデモンストレーションを行いました。

②「免震建物を想定した地盤調査及び設計用入力地震動に関する講習会」（6月）を対面+WEBにて開催し、免震建物を想定した地盤調査について、地盤調査の方法、基本的な言葉の定義、評定に応じた調査手法などの講演でした。

③「住まいるフェア福岡 2023」（10月）に協賛し、免震装置メーカー「THK株式会社」の免震体験車の試乗会を行いました。多くの方々に、「耐震構造」「免震構造」の建物の揺れの違いを体験していただき、例年通り、言葉だけでは伝わりにくい建物の耐震性能を感じていただくよい機会になったと思います。

今年は、応答制御設計に関する現場見学会、「時刻歴応答解析勉強会（第2回：実践編）」として『3D・DynamicPRO』の試用体験会（1台/一人のPCを準備した操作実践）などの企画を他の部会との共同で準備中です。皆様のご理解とご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

## 基礎地盤系部会



基礎地盤系部会長  
(株)梓設計 藪島 健夫

新年あけましておめでとうございます。

年明け早々良くないニュースが続きましたが、私たちの仕事の教訓となることも多いので、きちんと振り返り、より安心安全な建物を提供できるように、肝に銘じていきたいと思った年頭でした。

さて、昨年の基礎地盤系部会の活動は、一昨年にとまとめた「建築構造設計者のための地盤調査ハンドブック」の講習会を福岡で行いました。多くの方に参加していただき活発な意見交換も行うことができました。

今年の活動は、この講習会を宮崎支部と熊本支部で行う予定です。その他の支部でもご希望があればいつでもご連絡ください。また、基礎関連についての勉強会も企画しますので、皆様の参加をお待ちします。

本年も、基礎・地盤に関する様々な情報を皆様に届けていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

## 鉄筋コンクリート系部会



鉄筋コンクリート系部会長  
(株)あい設計 前田 隆志

新年あけましておめでとうございます。

昨年は「福岡市拠点文化施設 現場見学会」をはじめ、大分地域会と合同での「配筋標準図勉強会」開催など、鉄筋コンクリート系部会において温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のお力添えにより充実した見学会・勉強会を開催することができました。ありがとうございました。

2024年も講習会や見学会等、イベントを企画してまいります。皆様のご参加をお待ちしております。共に学び、成長し、新たな一歩を踏み出す年にしたいと考えております。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。JSCA九州支部会員の皆様の健康と幸福に満ちた素晴らしい一年を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 鉄骨系部会



鉄骨系部会長  
鹿島建設(株) 井手 文雄

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナが季節性インフルエンザと同じ5類感染症に引き下げられ以前のような日常が戻ってきました。WBC優勝や「アレ」、将棋の八冠制覇など明るい話題もありましたが、円安による生活必需品の値上げなど身近なところではなかなか厳しい状況が続いています。建設資材も一昨年頃から継続して高値で推移していますが、今後の動向にも目が離せません。

今年は辰年です。架空の生き物である辰（竜）は古来より権力や隆盛の象徴とされ、活力旺盛になって大きく成長し形がととのう時期だそうです。

当部会では、昨年引き続き、青年部会・鋼構造サブネットワークと協同して鉄骨ディテール集改定を進め、「形を成して（ととのえて）」いきたいと思ひます。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

## 木質系部会



木質系部会長  
（株）川崎構造設計 宮崎 大介

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、ワールドベースボールクラシックに始まり、バスケットボールワールドカップ、ラグビーワールドカップ等々、世界的なスポーツ大会のおかげで楽しく、熱いひとときを多く過ごせた一年であったと感じております。

11月には、山田憲明氏に「木造建築物の構造計画と事例」という表題で講演会をして頂きました。一般財団法人福岡県建築住宅センター様、九州住宅保証株式会社様のご協力のもと、対面とWEBの併用にて無事開催することができました。最新の木造建築物の木材利用、構造デザイン等の情報を九州に限らず多くの方へお届けできたことをうれしく思っております。

2025年4月からは2022年6月に公布された『脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律』により、審査・検査の特例(4号特例)の対象が縮小されます。そのような法改正に伴う木造関係の情報も皆様に提供できるように活動していきたいと思っておりますので、本年も何卒宜しくお願い致します。

## 特殊構法部会



特殊構法部会長  
（株）ピーエス三菱 石井 孝幸

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えの事と思っております。

昨年は、4月27日に糸島市新庁舎の現場見学会を開催することが出来ました。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行直前の時期でしたが29名の方に参加いただき有意義な見学内になりました。さて来る2月2日には「一実務に役立つ一若手技術者のためのプレストレストコンクリート建築設計・施工勉強会」を開催いたします。年末に勉強会開催のご案内を支部事務局から配信されています。ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

今年は41番目の干支で「甲辰（きのえ・たつ）」の年です。甲辰は新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられているようです。特殊構法部会は、「他の部会に属さない特殊な構法、構造をテーマに広げる」に努力し頑張りたいとします。皆さまの要望や意見などをお聞かせ下さい。

本年も引き続き特殊構法部会運営に関しましてご支援をよろしくお願い致します

## 耐震改修部会



耐震改修部会長  
(株)香月設計 香月 博己

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は原材料価格高騰の煽りを受け工事費が上昇したにもかかわらず、業務量は以前とさほど変わらない印象を受けました。今年は、適正に反映されることを期待したいです。

耐震改修部会では、10月にセンクシア株式会社協力のもと「鉄骨造耐震補強システム」勉強会を開催しました。講師の方からは、既存鉄骨造建築物の方杖、柱脚補強をテーマに、建物内の設備・スペース等に配慮した主に無溶接の補強方法、一般的な材料の使用や施工により導入しやすくしたといった工夫等を説明していただきました。質疑応答では主に力学的な面や施工的な面に対してお互いに活発な意見を交わし、今後の課題やスキルとして業務の一助となったことと思います。

今年は耐震改修、リニューアル等の講習会・勉強会・現場見学会に限らず、企業、賛助会、他部会と連携しながらの講習会や勉強会も開催したいと思っておりますので、皆様のご協力の程よろしくお願い致します。

## プログラム部会



プログラム部会長  
(株)アーキスト 今井 秀明

新年あけましておめでとうございます。

昨年新たに常設委員会として発足しましたプログラム部会です。構造設計で必須となった計算ソフト、CAD、BIM等の発達により劇的に構造デザインが複雑化した昨今、設計業務の一助になればと思い設計プログラム全般の紹介や提案をしております。

昨年はBIMに注目し取り組みましたが今年は加えて最適化計算等の計算分野においても取り組みを行い設計のレベルアップや効率化に寄与できればと思っています。生成AIの影響を受けやすい職業に「建築設計・エンジニアリング」が入っておりますが新技術を食わず嫌いで避けるより構造計画を大切にするため積極的に取り入れて新たなデザインを具現化する取り組みも大切なことだと考えています。本年も皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

## シニアアドバイザー



シニアアドバイザー部会長  
(有)ストリームデザイン 原 英基

新年あけましておめでとうございます。  
昨年度はコロナ禍を経て、新たに募集した12名のメンバーで活動を再開しました。  
長年培ってきた経験を何かの形で若手設計者に還元できないかと皆で議論を交わしています。  
今年度は地区会に出かけて、他団体も含めた若手との交流を通してJSCAの広報活動をしようかと話し合っています。  
部会活動・地区会活動の中でシニアの出番があれば出かけていきますので声をかけてください。  
本年も1歳年を重ねます。ゆっくりと頑張ります。

## 構造デザイン部会



構造デザイン部会長  
(株)久米設計 伊藤 淳

新年あけましておめでとうございます。  
構造デザイン部会の活動を始めて3年が経過しました。昨年の九州構造デザイン発表会は久しぶりに対面主体の開催となり、多くの方にご参加頂き、懐かしい熱気を感じたひとときでした。  
九州地区内で活動されているたくさんの皆さんにご発表頂くとともに交流の機会を生まれ、大変有意義に思います。最近は関東でご活躍されていた方が九州に戻られることも増え、様々な刺激を受ける日々です。  
今年は少しずつ活動の幅を広げるためにコアメンバーを増強していく考えです。引き続きご協力の程よろしくお願いたします。



## 青年部会



青年部会長  
(有)福岡構造 安達 亮平

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は世間を騒がせた新型コロナウイルス感染症がついに5類に移行し、やっとこの話題から解放された、ある意味で記念の年だったと感じています。昨年に引き続き、今年も自由に活動していきたいと思います。

昨年の活動で最も印象に残っているのは、やはり北海道支部との支部間交流です。3月に開催した張弦梁勉強会に北海道支部より7名参加いただき、非常に有意義な交流を行うことができました。12月には北海道支部で毎年開催されている構造設計交流会に、九州支部から12名参加させていただき、こちらも刺激的な交流になりました。北海道と九州は同じく日本の“端っこ”という立ち位置で、支部の活動について同じような悩みを抱えており、今後も交流を続けることで、お互いに良い支部活動・運営に繋がっていかれると感じました。

2024年の最初の青年部会の活動として、昨年に続き鉄構工業会との意見交換会を3月に企画しています。また今年は今々に建物見学会も開催したいと考えておりますので、広く多くの方にご参加いただければ幸いです。本年もどうぞよろしく願いいたします。

## なでしこ会



なでしこ部会長  
(有)中野構造設計 松田 千恵

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、毎月のミーティングに加え、3月は鉄鋼工業会との交流会、9月は榊田洋子さんを囲む会、10月はシニアアドバイザーとの座談会、12月は北海道支部との交流会と、若手会員の活動参加が多く活気のある一年でした。青年部会との共催が多く、幅広く活動が出来たと感じています。プログラム部会 BIM-WG、紹介による新規入会もありました。ご協力いただきどうもありがとうございます。

2024年も、より一層の発展を目指し、女性技術者の力をより活かせるよう努力し、なでしこ会の通常の活動以外でも、他部会・サブネットワーク等の活動に協力しながら、個人の技術力アップと人脈形成を進めることが出来ればと思っています。

本年も皆様のご協力とご支援に感謝しながら、『共感力』を大切になでしこ会らしい活動を続けてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

## 広報委員会



広報委員長  
オリエンタル白石(株) 福田 顕議

新年早々に発生した能登半島地震、そして翌日の羽田空港での航空機事故により被災された方々とそのご家族に、深い哀悼の意を表します。この難しい時期に、力を合わせ一日も早い復興を迎えられることを願っております。

昨年の JSCA 九州支部は、徐々にオフライン活動も再開されており、総会や役員と賛助会員との懇親会なども対面で行われました。広報委員会最初の仕事は、このメール版新春号の編集と配信です。毎年恒例のご挨拶とお礼ですが、役員の皆様、地区会幹事の皆様、お忙しいところ新年早々の執筆ありがとうございました。

広報という名の通り、2024 年も JSCA 九州支部の魅力を会員その他一般の方々に、広くわかりやすくお知らせしていく所存です。今年も各種講習会や見学会が行われると思います。アナウンスしたい情報がございましたら、事務局や広報委員会にご一報いただければ幸いです。一人でも多くの参加いただけるよう、広報委員会も微力ながらお手伝いさせていただきます。JSCA 九州支部会員の皆様、本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 事務局



事務局長  
エス・エー・アイ構造設計(株) 都市 毅

皆様、新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年 5 月より事務局長の役を拝命し、早いもので 7 ヶ月余り経ちました。奇しくも同月 8 日より、3 年あまり続いた新型コロナウイルス感染症の扱いが 5 類となり、人の往来が活発となる中、JSCA 九州支部においてもコロナ禍前と同じように会員の皆様が円滑に活動を行えるよう事務局の業務を務めてきた次第です。業務遂行に際しては、前任の恵藤様をはじめ三役や役員の方々、会員の皆様から叱咤激励いただきましたこと感謝申し上げます。

今年は昨年 10 月に支部役員関係者の皆様へご案内差し上げた Microsoft Teams の運用を推し進めてまいります。これまで個別にメール等で配付していた資料も Teams で共有できるものは積極的に活用できればと思いますので、皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。ご協力よろしくお願い致します。

最後に、浅学非才の身ではありますが、これからも会員と賛助会員の皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 地区会



北九州地区会幹事

(株)松尾設計 牛尾 忠信

新年、明けましておめでとうございます。

北九州地区会幹事の牛尾です。長らく、地区幹事をお引き受けしています。地区会活動が停滞し、日々だけが通り過ぎていきます。昨年5月にコロナウイルス感染症が5類に移行し行動制限がなくなりましたが、地区会活動は元に戻っていません。2024年は何か前進しなければと思います。

新年早々、元日に令和6年能登半島地震が発生しました。最大震度7、大津波情報、地震に伴う大規模火災も発生しています。地盤の液状化、長周期の影響も。

3日には、小倉北区鳥町食堂街で火災が発生し35店舗が消失している様です。建築技術者として、耐震、耐火、防火等の重要性を考えさせられる一年の始まりになりました。

私自身は今年もこれまでと同じ古い鉄骨造建物の耐震補強などの構造設計をする予定です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



佐賀地区会幹事

(株)石橋建築事務所 今村 敬

新年あけましておめでとうございます。

昨年は地区会活動においても対面でのやり取りが増えるなど、活発さを取り戻しつつある状況です。また、年明け早々から能登半島地震が発生し、構造設計者として向き合う自然災害について、改めて考える機会を与えられたように感じます。

安全な建築物を設計することで社会に貢献することを旨に活動する私たちは、継続的な研鑽に努め、地域の特色を踏まえた上で、安全の考え方を地域の皆さんと共有するべく、情報発信などの活動が必要なのかもしれません。

佐賀地区会としては、佐賀の地にある構造設計者として地区会会員の皆さんとともに、今できること／求められることを意識して、今年一年取り組んでいきたいと考えているところです。

本年もよろしくお願いいたします。





長崎地区会幹事

(有)百田建築設計事務所 平川 雅敏

新年あけましておめでとうございます。

地区会活動も段々とコロナ前に戻りつつあり、昨年は6年ぶりに佐世保(市)例会を開催することができました。高速道路高架橋道路幅拡張工事の研修・見学で土木的な部分ではありますが片持梁の出寸法を伸ばすという構造的に興味深い内容でした。また長崎市以外で例会を開催でき久しぶりに会う会員もいて、たいへん有意義な例会となりました。今年2月には昨年度に続きまして、長崎県鉄構工業会との合同懇談会も開催予定です。地区会会員や地区会活動へ協力頂いている皆様の力で活動ができた一年になったと思います。ありがとうございます。今年も、できることを、地区会会員で話し合い一丸となって、活動していきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

最後に九州支部会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



熊本地区会幹事

(株)ビルド総合設計 谷口 規子

新年あけましておめでとうございます。

昨年、幹事を拝命いたしました。就任してすぐに「九州支部役員会 in 熊本」がありましたが、前幹事を始め、支部の事務局や多くの地区会員のご協力をいただき、無事に開催することができたので、ほっとしました。この場をかりてお礼申し上げます。ありがとうございました。今年の活動としては「鉄鋼情勢等についての講習会」や金箱温春氏を熊本へお招きしての「構造デザインと地方に住む構造技術者の可能性についての講演会」や会員が普段行っている業務を発表する「ミニミニ構造デザイン発表会」などの講習会関連や「五島列島教会群視察見学旅行」を企画し、多数の参加を頂きました。講習会には地元大学の学生の参加もあり『未来の構造技術者』へ構造設計の魅力を感じてもらえたら良いな、、、と思いました。どの業界でも人手不足が懸念されています。建築構造分野でも同じだと思うので、新規会員の増強はもとより、このような学生へのPR活動にも力を入れていきたいです。

本年度の熊本地区会は新体制となります。皆様と共に楽しく研鑽を積める活動ができるように努めますので、どうぞ、よろしくお願ひ致します。



大分地区会幹事  
しげる設計一級建築士事務所 首藤 茂

新年明けましておめでとうございます。

昨年大分地区幹事を引き継ぎました。

おんせん県大分では豊後大野市以外はどこでも温泉が出ます。中でも私の住んでいる別府では泉質の違う温泉がいっぱいあります。活断層が別府湾から西の方向に伸びていて、1975年の大分県中部地震を起こしました。自然の恵みと地震は避けられないかも、そのためにも安全な建物を設計しようと思います。

今年7月26日(金)はJSCA九州支部役員会 in 大分があります。場所はホテル日航大分オアシスタワーです。皆様の御出席をお待ちしております。

本年もよろしく申し上げます。



宮崎地区会幹事  
元確認機関・元適判機関 川越 義雄

あけましておめでとうございます。

昨年は構造デザイン発表会、役員会 in 熊本、設計4団体懇談会、拡大役員会など皆様お疲れ様でした。いろいろな活動に参加し感じたことは、支部長はじめ役員の方々、会員の皆様方のJSCA九州への熱意でした。その組織の一員であることは私の大きな喜びです。

年明け一番(1月19日)には今林支部長、基礎地盤系部会の葩島部長、和田様の協力を戴き宮崎で「設計者のための地盤調査ハンドブック講習会」を開催致します。講師の方々、鹿児島・大分地区会から参加の皆様方よろしくお願い致します。

14年ぶりに任命された二度目の地区幹事は残すところ3月までとなりました。2年前に私の掲げた目標は「地区会のオンライン化」、「次期役員の手育成」、「若手会員の勧誘」、「多団体との協調」でした。お陰様で何とか目標を達成できそうです。また、宮崎県木材センター主催の木材利用推進会議に積極的に参加し県との繋がり大切にしてきました。

この2年間、二人の若手の方に幹事・事務局の補佐として地区会活動を勉強してもらいました。4月からは若手新役員による斬新な発想での活動ができるものと期待しています。

本年も宮崎地区会を宜しくお願い致します。



鹿児島地区会幹事

(有)リソー・エンジニアーズ 白坂 哲也

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新年早々、我々に大きな命題が課されたように思います。この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今、構造設計一級建築士定期講習をオンラインにて受講中で、修了考査に向けて勉強中ですが、「仕事で必要だから」という心持ちではなく、「社会のために」という専門家としての矜持、使命感を保ちながら識見の向上に務めなければならないと考えます。

本年は早速、1月19日に宮崎地区会からのお誘いで「構造設計者のための地盤調査ハンドブック講習会」に鹿児島地区会も参加することになっております。本年もJSCA九州の皆様と共に共鳴、共感、刺激し合いながら研鑽を積めたら幸いです。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(なお、ここからは余談(私事)で昨年の続き(報告)です。長期計画の志はフランス語の習得でした。目標は検定4級にクリアすることでした。なんとか合格できました。ギリギリでの合格でちょっと恥ずかしいのですが・・・さらに上を目指します!)



沖縄地区会幹事

(株)国建 島袋 敦

新年あけましておめでとうございます。

年明け早々に、能登半島地震及び羽田空港での航空機事故が発生いたしました、被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

昨年(2023)沖縄地区幹事に就任しました島袋です。皆様よろしくお願します。

昨今、コロナ過の自粛ムードが変わり、社会活動が活発になってまいりました。沖縄地区会も昨年は、鉄構工業会との「よりエコなディテール」勉強会、琉球大学との「沖縄の地震災害について考える」シンポジウムを開催いたしました。両イベントとも盛況で、それぞれ2回目の開催を予定しております。

今年も上記2回目のイベントの他、1月26日の首里城正殿の現場見学会、コロナ過で暫く延期していましたが構造設計の楽しさを学生に伝えるイベント等、活発に活動していきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い致します。